



はとの子だより

No.3 令和4年5月27日(金)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

学ぶ子どもたち～公開研究協議会に向けて～



左の子は、一回はさみを入れるごとに折っていた色紙を開き、切り込みによってできた模様を確かめては、また次の切り込みを入れていました。

右の子は、切り込みを入れてできた色紙を開いて並べ、同じ切り込みの入れ方でも色紙の折り方を変えるとできる模様がどうなるか確かめています。

1年生の図画工作の学習です。入学して間もない子どもたちですが、既に学び方はそれぞれです。どちらも学び方に説得力があって、思わず見入ってしまいました。



公開研究協議会の授業撮影が始まりました。2年生の生活科が皮切りです。

2年生は、本校の先生方に見守られながら、張り切って自分たちの気づきを伝え合っていました。「町探検で見つけた花壇の花がとってもきれいで、色を見ていたらおいしそうだなと思いました。」という発言にみんなの頬が緩んでいました。「ラーメン屋さんの看板が真っ赤でおいしそうだなと思いました。」という子もいたので、「さっきの花の色も赤だったのかな」と尋ねてみたくなりました。そこから「おいしそうな色」の気づきが生まれそうでした。子どもたちの目や鼻や耳で捉えた感じ方を結び付けて考えてみると、たくさんの気づきに発展しそうです。もう一回町探検がしたい、という願いから、新たな、そしてより深い気づきが生まれることを願わずにはいられませんでした。

学校を美しく飾ろう～花いっぱい活動～



新型コロナウイルス感染症の拡大傾向に収束のめどが立たず、5月の縦割り班活動や児童会活動の実施がずれ込んでいます。

そのような中、花いっぱい活動だけは時期を逸することができないことから、各学年が分散で実施せざるを得なくなりました。

そのような状況下でも、子どもたちは互いに協力し、一つ一つの苗を大切に扱いながらプランターに花を植えていきました。初挑戦の1年生も愛おしそうに苗を抱え、土の中にそっと入れていきました。6年生は、今年が最後の活動になります。手慣れた様子で植えていきました。

毎朝、丁寧に水やりをしている子どもたちの姿を見ていると、心の中まで花が咲いたような気持ちになります。夏休み前には、ベゴニアの花が一斉に咲き誇ります。是非、花いっぱいの校舎前をのぞきに來てください。

一人一人が欠かせないワンピースに～児童会開き～



今年度の児童会開きは、感染予防の観点からオンラインで実施しました。6年生を中心とした企画委員会のメンバーが、今年度のスローガン「ジグソーパズル」の意味など、今年度の活動方針を全校児童に向けて説明しました。

スローガンにあるとおり、一人一人みんな異なる個性をもった仲間が、自分らしさを存分に発揮し、はとの子の新たな伝統を築き上げてくれるものと期待しています。(写真はリハーサルの様子です)

